

## 社会調査実習中間報告会

11 日午後に今年度の社会調査実習「中間報告会」が 203 教室でおこなわれた。開会の挨拶を頼まれ、以下のようなことを脱線しながら話した。

「こんにちは。社会調査実習は現代社会学科の看板講義であります。講義開始から半年が経ち、実習の中間報告会を開催できることを、まずは喜びたいと思います。この間、準備されてきた担当の皆さんに感謝します。ありがとうございました。

ことは 4 月 16 日にガイダンスがおこなわれ、すんなりと 6 グループが決まりました。今日の発表テーマを見ても、奇抜でしゃれたテーマが並んでいます。これからの報告を楽しみにしています。中間報告会は調査実習の中間地点です。マラソンでいうと、20 キロを少し過ぎた頃だと思います。これから本格的なレースが始まります。とかく調査をやっている時は楽しいのですが、「まとめ」の作業はきついものです。報告に対する厳しい「注文」をうけて、追加の調査をやる必要があります。来年 3 月の報告書の完成に向けて、一層の奮闘努力を期待します。

看板講義が「看板倒れ」にならないように、頑張ってください。」

6 グループは報告順に市町村合併、男女共同参画、万博とメディア、東別院と地域、定住外国人との共生、名古屋の喫茶店である。

私が担当したチームの報告テーマは「合併しちょう そん?」である。たまたま私が提案したテーマであり、メールでの投票を経て採用されたものだ。写真は最初の報告のところだが、画



面にうっすらと私の顔が映っている。中間報告書の表紙にも使われており、恥ずかしいかぎりである。

各チームの報告時間は 30 分、質疑 15 分であり、6 チームあり 5 時間にもおよぶ。この日のために準備をして、緊張しながら報告する様子は、通常の講義とは違う自律的な学生たちであり、感慨深いものがある。夕方まで報告を聞いて質疑に参加したが、時間の経つのを忘れるほどであった。終了後におこなわれた懇親会も楽しかった。来年以降も報告会が続けられたらと思う。

(10 月 13 日記)